

2024年度(令和6年度) 自己評価実施記録

※黄色部分のみ記入してください

記入日	年 月 日	氏名	目標とする等級
-----	-------	----	---------

自己評価欄に記入 A:常にできている B:大体できている C:できていない ※該当しない項目は/ (斜線) を記入

I. 基本介護技術の評価					目標等級 (事業所使用欄)				
中項目	No	小項目	自己評価 (A,B,C,/)	評価者評価					
1 入浴介助	1	入浴前の確認ができる			等級2 ①	等級2 ②	等級3	等級4	
	2	衣服の着脱ができる							
	3	洗体ができる(浴槽に入ることを含む。)							
	4	清拭ができる							
2 食事介助	1	食事前の準備を行うことができる							
	2	食事介助ができる							
	3	口腔ケアができる							
3 排泄介助	1	排泄の準備を行うことができる							
	2	トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助ができる							
	3	おむつ交換を行うことができる							
4 移乗・移動・体位変換	1	起居の介助ができる							
	2	一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる							
	3	全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる							
	4	杖歩行の介助ができる							
	5	体位変換ができる							
5 状況の変化に応じた対応	1	咳やむせこみに対応ができる							
	2	便・尿の異常(血便・血尿、バイタル、ショック状態など)に対応ができる							
	3	皮膚の異常(炎症、表皮剥離、水泡、潰瘍等)に対応ができる							
	4	認知症の方がいつもと違う行動(攻撃的行動、突発的行動、対応が困難な行動等)を行った場合に対応できる							
II. 利用者視点での評価					目標等級 (事業所使用欄)				
中項目	No	小項目	自己評価 (A,B,C,/)	評価者評価					
1 利用者・家族とのコミュニケーション	1	相談・苦情対応ができる			2②	等級3	等級4		
	2	利用者特性に応じたコミュニケーションができる							
2 介護過程の展開	1	利用者に関する情報を収集できる							
	2	個別介護計画を立案できる							
	3	個別介護計画に基づく支援の実践・モニタリングができる							
	4	個別介護計画の評価ができる							
3 感染症対策・衛生管理	1	感染症予防対策ができる							
	2	感染症発生時に対応できる							
4 事故発生防止	1	ヒヤリハットの視点を持っている							
	2	事故発生時の対応ができる							
	3	事故報告書を作成できる							
5 身体拘束廃止	1	身体拘束廃止に向けた対応ができる							
	2	身体拘束を行わざるを得ない場合の手続ができる							
6 終末期ケア	1	終末期の利用者や家族の状況を把握できる							
	2	終末期に医療機関または医療職との連携ができる							
III. 地域包括ケアシステム&リーダーシップ					目標等級 (事業所使用欄)				
中項目	No	小項目	自己評価 (A,B,C,/)	評価者評価					
1 地域包括ケアシステム	1	地域内の社会資源との情報共有			等級4				
	2	地域内の社会資源との業務協力							
	3	地域内の関係職種との交流							
	4	地域包括ケアの管理業務							
2 リーダーシップ	1	現場で適切な技術指導ができる							
	2	部下の業務支援を適切に行っている							
	3	評価者として適切に評価できる							
(総評・コメント)									